

【町長】

通告 順	質問 議員	質問項目	質問の内容
1	高田 議員	商工業者に対する緊急利子補給の実施について	<p>長引く不況と景気の低迷が続く中、地方における商工業者の経営環境はますます厳しさを増してきている。</p> <p>商工業者に対する経営支援策として、日本政策金融公庫と北海道制度融資への支払利息に対する利子補給が「緊急利子補給」として、平成20年度分より実施されています。</p> <p>1 商工会より要望書が提出されていることから、平成23年度分についても実施する用意があるか。</p> <p>2 利息の補填比率が従前は1.0%であったが、現状における商工業者の経営環境を考えたとき、1.5%程度に上乘せして経営支援が出来ないか。</p>
2	高田 議員	ポートハーディ市との交流事業について	<p>カナダ・BC州のポートハーディ市とは、1994年に姉妹都市提携を行って以来相互訪問を重ね、友好を築いてまいりました。</p> <p>特にここ数年は沼田中学校の生徒を派遣し、子どもたちの国際感覚の涵養に大きな役割を果たしています。</p> <p>本年、東日本大震災の影響から先方からの訪問が中止となりました。次年度以降の交流については白紙の状態とは思いますが、先方からの訪問の有無にかかわらず、予定通り訪問団を派遣するべきと考えます。</p> <p>生徒の中には、中学校の2年生・3年生になったら町の代表として、姉妹都市であるポートハーディ市を訪れることを目標に、勉学に励んでいる生徒もいると聞いています。子どもたちに均等に機会を与えるためにも、次年度は訪問事業を行うべきです。町長の考えを伺います。</p>

<p style="text-align: center;">3</p>	<p style="text-align: center;">久保 議員</p>	<p>7月に町内10ヶ所で行われた「町民ふれあい懇談会」で、町民からいただいたご意見・ご要望、またそれらへの回答と対応を全て閲覧する方法を教えてください。</p>	<p>金平町長が清新なイメージで登場されたことの視覚的な象徴のひとつが、「町民ふれあい懇談会」における、参加者を数人ずつのグループに分け、課長級職員が一人ずつ中に入り直接町政への質問や要望を聞き、グループごとに発表し、町長が司会をして回答したスタイルであったと思います。</p> <p>このスタイルは金平町政の初心と姿勢でもある「住民との対話と相互理解で進める行政運営」の見事な具体化であったと思います。</p> <p>それはまた、西田前町長が取り組まれてきた「協働のまちづくり」の批判的発展形でもあると私は感じました。ただし、「住民との対話と相互理解で進める行政運営」という言い方は、ただ単に「協働のまちづくり」を噛み砕いた説明文の範囲に収まっているだけであると思います。ですから西田町政が厳しい時代の中で基礎作りをされた「協働のまちづくり」を発展的継承で乗り越えてゆくためには、さらに住民の意見や要望をより正確に引き出す手法を工夫し、そこにより丁寧な回答と対応を怠らず、それらを町長のリーダーシップで纏め上げて、より精度の高い「協働のまちづくり」を創造し持続することこそが、「住民との対話と相互理解で進める行政運営」であると思います。</p> <p>その意味からも、今まで「町民ふれあい懇談会」が続けられてきても、ややもすれば参加者が減少したり、住民からの積極的な発言が薄くなってきた傾向を、金平町長のささやかではあっても真摯なアイデアが、予定時間を大幅に過ぎるほど、参加者数と発言数と質の向上が実現できたと思います。</p> <p>そうして出された「町民のふれあい懇談会」での全てのご意見・ご要望は、まさに沼田町の財産です。同様に、「町長室開放日」で出された声も発言者が許せば、全町民で共有したいところです。『広報ぬまた』8月号では、「9月号にてご紹介します。」とありますが、出された全ての意見・要望を10ヶ所の地域ごとにわけ、それらの回答と対応を全て一覧表にして閲覧できますか？</p>
--------------------------------------	--	---	---

4	渡邊 議員	「J A 北いぶき」との連携をどの様に考えているか。	<p>我が町の基幹産業は農業と考えているが、農業政策を進める上で、「J A 北いぶき」との連携が重要と考えます。町長の考えを伺います。</p> <p>1) 「J A 北いぶき」との農業対策を進める上で、沼田・秩父別・妹背牛の3町連携が重要と考えますが、3町の農業予算に隔たりがある様です。本町でいう農業総合対策関連事業予算額(町独自事業)はいくらか、又、どの様に使われているのか、今後3町連携等どの様に進めたいと考えているか。</p> <p>2) 後継者対策は共同重要対策と考えます。沼田町独自の対策も必要と考えますが、「J A 北いぶき」とどの様に進めたいと考えているのか。</p> <p>3) 「J A 北いぶき」から農協の第4次中期計画の骨子説明とその関連要請があったと聞いているが、どの様な内容で、どう対応するつもりか。</p>
5	鵜野 議員	次期農業振興計画のコンセプトについて	<p>農業、農村を取り巻く環境は農畜産物価格の低迷や資材の高騰などによる農業所得の減少、さらに農業人口の減少、後継者不足による急激な農地の流動化、また一方では TPP, FTA など難し環境にあり今後の農業、地域経済にも大きな影響を及ぼすと考えられる。</p> <p>本町の利雪型農業の取り組みも、ファクトリー建設以来あまり進まず、これも 15 年以上経ち新たな取り組みが期待されている。</p> <p>こうした中、今年度で第7次沼田町農業振興計画が終了するが、大きな転換期を迎え沼田農業の構築をどうめざすのか。</p> <p>①基本目標としての5項目がこの5年間でどう取り組まれたのか、特に農業所得確保に向けた収益性の高い農業構造の確立</p> <p>②次期計画での町長が目指す沼田農業の姿とは</p> <p>③次期計画での農業所得額をどう設定するか (2世帯が暮らせる所得額)</p>

6	絵内 議員	就業支援センターについて	<p>センターは、少年院を仮退院するなどして保護観察中の少年達が、農業を通して社会復帰を支援するための更正施設であります。</p> <p>今はシイタケ栽培を中心とした実習であります。が、昨年より保護司をされている2戸に播種、田植、収穫作業に、1日ずつ来てもらっております。</p> <p>農業実習を多くし、農業に感心を持ってもらい、農業に就職してもらう事が一番ですが、今は就農訓練が生かされていないので改善すべきと思うが町長の見解をお伺いします。</p>
7	中村 議員	ライスファクトリーの投資効果について	<p>平成8年、ライスファクトリーが建設され、それまでの農作業形態が一変するとともに、雪中米効果もあり、沼田産米の評価が非常に高まりました。</p> <p>沼田町の農家は等しく、当時の決断・英断に感謝をしております。</p> <p>いまや、公共で農業施設を建設して、農業団体が運営するシステムは「沼田モデル」と言っているくらいにスタンダードになっております。</p> <p>建設以来15年が経過し、その総括をするべきと考え、以下質問します。</p> <p>①本体・粃ガラ施設・クッションタンク等を含めた関連投資総額はいかほどか。</p> <p>②そのうちで、国の補助金や過疎債による後年助成の総額はいかほどか。</p> <p>③また、農家・農協の負担分はいかほどか。</p> <p>④結果として、町財政からの持ち出しはいかほどか。</p> <p>⑤さらに、町が建てることによる、固定資産税の遺失分はいかほどか。</p> <p>⑥以上を総合的に考えて、町としての一連の投資は功であったか罪であったか。</p> <p>⑦今後このような投資計画・投資依頼があった場合、応じる用意があるか。</p> <p>現在、Aコープ店舗の老朽化が指摘されており、建て替えが必要です。</p> <p>町づくりの核として、また、機能強化による雇用の場の確保の観点から、「沼田モデル」での建て替えも選択肢だと考えます。</p>

【農業委員会長】

通告 順	質問 議員	質問項目	質問の内容
1	中村 議員	農家配偶者対策 について	<p>沼田町の農家数も 200 戸を割り込み、1 戸当たりの経営面積もいっばいいっぱいのところまで来ています。</p> <p>法人化・協業化の胎動はあるものの、これ以上の戸数減は遊休農地の発生を招きかねません。</p> <p>離農の要因にはいろいろありまじょうが、パートナーがいないことによる離農も懸念されます。そこで</p> <p>配偶者のいない農家は何人くらいいるか。 農業委員会として、どのような対策をしているか 指導力に期待しております</p>

【教育長】

通告 順	質問 議員	質問項目	質問の内容
1	上野 議員	沼田の子供の学 力底上について	<p>北空知広域連携が進む中、教育についても今まで以上に連携を取り学力の底上げをすべきと思う。</p> <p>学力向上と社会人としても役立つ文化芸術鑑賞、さらに陸上大会や数々の大会に参加できる環境を整えるべきと思う。</p> <p>子供に夢と希望を与えるべきと思うが、教育長の考えを伺いたい。</p>